

みのかもアルプホルンだより

【「ドイツで磨いた「解釈」を歌う」】 — 聴く人を魅了する演奏をめざして —



左は毎日新聞 2023年 7月 9日(日)の「文化の森」欄の「ドイツで磨いた「解釈」を歌う」と題する世界で活躍するメゾソプラノ歌手 藤村実穂子さんの日本ツアーにかけるとのインタビュー記事です。

その中で、音楽で「良い」とは何を意味するだろうかと考え、そして「曲の『解釈』をしよう」と思い、表現を磨くことにした。

「歌詞、和音、なぜこの場所で作曲家は転調し、なぜここで不協和音を鳴らすのか・・・」「リサイタルで歌う曲目、構成は、2年かけて詩の内容でプログラムを組み立て、歌詞の並べ方で物語を練っていきたい。」と語っている。

歌い終わった時、聴く者にはどのような物語が描かれるのか。じっくりと聴いてみたいと、記事は結ばれている。

◆◆◆7、8月の演奏等◆◆◆

【7月1日(土)】13:30~15:30 公開練習(中山道会館ミニコンサート)



美濃加茂市太田本町 太田宿中山道会館
 美濃加茂市に大雨警報と雷・洪水注意報が出ていた。そんな天気なのに、来館者が予想以上に多く、基礎練習よりも演奏曲の練習が多くなった。

6月28日(水)の「みのハイキングクラブ」勉強会の発表で、伊吹山3合目で演奏した動画を流したが、その中の「Pregizer-Alphornpolka」は、他のアルプホルンの曲と違い、山で聴く曲には思えない。しかし、他の曲とテンポも違い、演奏中に聴いている人が手拍子をし、楽しんでいるのがよかったとの感想があった。

「De Soreberger」を、ゼーレベルグの村に近隣の村々から人々が集い、歌い、奏で、ダンスで楽しんだ。その祭りが終わり、帰って行くとの曲相で練習した。それから「Pregizer-Alphornpolka」を人々が集い、歌い、奏で、ダンスで楽しんだ部分に当てはめたストーリーで、曲の選択や組立を考えれば、山で聴いても違和感がないだろう。

【7月22日(土)】14:00~16:00 定期練習 美濃加茂市太田本町 太田交流センター

【7月23日(日)】15:30~17:00 ユウスゲまつり 滋賀県米原市 伊吹山3合目



北九州・中国地方を襲った大雨の影響で、演奏会場の伊吹山3合目に昨年以上の土砂崩れの被害があり、7月18日(火)にイベント自体が中止になったと主催者の米原市から連絡があった。

毎年、伊吹山3合目を訪れ、ユウスゲの花の前のアルプホルン演奏は楽しかった。

そのうえ、アルプホルンは山で演奏するのが最高だと再認識する場だったので、中止は非常に残念だ。

伊吹ドライブウェイで、アルプホルンの演奏に挑戦したい。

【8月5日(土)】10:50~13:30 広和木材感謝祭



中津川市千旦林 広和木材本社敷地内
 暑い一日だった。ファンファーレの演奏とステージ演奏をおこない、演奏の合間は、ブースで春慶塗のアルプホルンを展示した。

【8月12日(土)】13:30~15:30 公開練習(中山道会館ミニコンサート)

美濃加茂市太田本町 太田宿中山道会館

【8月20日(日)】10:30~11:00 完成式 坂祝町 アルプホルン・さかほぎ工房



アルプホルンの完成をクラブ員が祝福し、受講生と付き添いの母親に演奏をおこなった。中日新聞の取材があった。(中日新聞2023/8/23(水)中濃(中濃版))

【8月26日(土)】14:00~16:00 定期練習 美濃加茂市太田本町 太田交流センター

【2023市民講座「アルプホルンを吹こう—手づくりし、演奏する—」】

【7月2日(日)】10:00~15:00 坂祝町深萱 アルプホルン・さかほぎ工房



6月11日(日)の開講から、いままで計画通り作業は順調に進んでいる。しかし、講座3日目は天気予報では、熱中症のおそれがある告げている

ので、作業ペースを落とした。しかし、1-1番管の外形成形、2番管の連結部の加工、1-2番管の内部塗装、貼り付け、ベル部分の加工をおこなった。

岐阜新聞の取材があった。(岐阜新聞2023/7/7(金)地域総合版)

【7月9日(日)】(日)10:00~15:00



天気予報では、大雨が降ると告げているが、午前中は小雨がときおり降るだけだった。しかし、14:30頃豪雨が降り、蒸し暑い1日だった。

1-2番管の外形成形作業では、鋸やノミの使い方がうまくなった。電熱ペンで脚に絵を描いた。2番管、3番管を仮に組立て曲がりなどを点検・調整した。



【7月16日(日)】10:00~15:00

ベルと1-2番管に些細なミスが見つかり、つくり直した。よい音色のアルプホルンつくりには些細なミスも妥協できない。

1-1番管につくり直したベルを取り付けた。

従来の講座だと、作業もゆっくりで、受講者は作業に慣れ、指導者の注意事項も次第に理解できるようになっていくが、今回のような加工済みの部材を使う講座は、作業に慣れるまもなく、指導者の注意事項を理解できないままに、各パーツが完成していく。このような講座は、木工作業に不慣れな受講者向けで、木工作業に慣れた受講者には、プラモデルだと敬遠されると思っていたが、むしろ加工済みの部材から、完成されたアルプホルンを頭に描き、指導者の注意事項を理解できる受講者向けだと思われる。

【7月22日(土)】10:00~14:00



午後から、太田交流センターの定期練習を見学した。

ベルと1-1番管のつなぎ目を加工した。つくり直しの1-2番管が完成した。2番管、3番管の連結管を調整しながら取り付けた。

【7月23日(日)】10:00~15:00



ようやく1-2番管、2番管、3番管を組み立てることができた。

1-1番管と1-2番管を接合した。連結管を取り付けたので、連結管保護のためシースをつかった。

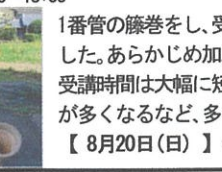
【7月30日(日)】10:00~15:00



受講者の演奏姿勢により脚の取り付け位置を決定し、脚の取り付け部の加工をした。

チューニングはやや高めだが、しばらく吹き込んでみる。2番管、3番管の籐巻と、脚を取り付けた。

【8月6日(日)】10:00~15:00



1番管の籐巻をし、受講 36時間でようやく完成した。あらかじめ加工された部材を使ったため、受講時間は大幅に短縮されたが、指導者の負担が多くなるなど、多くの課題が見つかった。

【8月20日(日)】~12:00 完成式後ダメ直し。

9・10月の演奏予定等

- ① 9月2日(土) 公開練習(ミニコンサート) 美濃加茂市太田本町 太田宿中山道会館
- ② 10月1日(日) 城東フェスティバル芸能祭 犬山市立城東小学校
- ③ 10月7日(土) 公開練習(ミニコンサート) 美濃加茂市太田本町 太田宿中山道会館
- ④ 10月15日(日) おん祭太田宿中山道まつり 美濃加茂市 中山道太田宿界隈